

1. 事業の位置付け

事務事業名	農業理解促進事業		
事業担当	経済部 農水産課		
予算科目	01-060103-010000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	02	②<熟成> 市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 生産農家 】		
目的・目標		事業の概要	
農業体験、生産者との交流事業などの開催により、生産者と消費者のふれあいの創出と地域経済の活性化が図られ、農業に対する理解と認識が深まっています。		農業理解を深めるため、農業体験、生産者との交流事業、地場産品のPRイベントなどを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地産地消に向けたイベント開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			3	3	4			
	実績			3					
活動指標②	指標名							単位	日
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	生産者・生産者団体が設置する直売施設（直売所）数						単位	箇所
	説明・算定式	JA支所併設の直売をはじめ個人設置の直売所数により地場産品の販売状況を示す。							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			32	34	36			
	実績			31					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
地産地消体験として、田植え体験・草取り体験・稲刈り収穫体験を実施した。また、フラワーシティ平塚を市民プラザで6日間開催し、2,497人の来場者があり、地産地消の推進に寄与した。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	来場者、参加者の反応は良く、市民ニーズが高いので必要な事業である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	フラワーイベントは、新規の来場者と固定の来場者があり、定着した事業が認められる。農業体験では、毎回参加者が異なり継続的に実施することにより、多くの市民の満足度を高めることができ有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	農業体験学習では、障害保険料及び諸費用として、参加費を徴収しており、受益者負担の視点から妥当である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	フラワーイベントでは、生産者に輪番制で、準備・片付け・園芸相談員として協力を図った。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

多くの参加者を得るために、より一層のPR活動を行う必要がある。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				PRイベントの開催、新支援制度の研究など	PRイベントの開催、新支援制度の施行など	PRイベントの開催、新支援制度の運用など		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	250	650	550	0	0
事業費 (A)		0	0	250	650	550	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	83.33				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.17	1.17	1.17	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	9,818	9,818	9,818	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	10,068	10,468	10,368	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性

● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合

<判断理由>

フラワーイベントは、新規来場者と固定した来場者があり、また、他市よりの来場者も見受けられることから、継続的に実施する。
農業体験学習は、毎回参加家族が異なり、多くの市民に参加いただくためには、継続的に実施することが有効である。

平成21年度の取組方針

農業体験学習は、受益者負担の視点から参加者より負担金を徴収し、市民ニーズにあった効率的・効果的な運営の継続をしていく。

課長コメント

地産地消を推進するため、直売組織の機能強化を目指した支援や、食農教育の推進のため農業体験学習を今後とも実施して行く。
また、市内で生産される花きのPRや農業理解を図るためのイベントを実施して行く。